

太陽戦隊サンバルカン（1981～1982）

メディア TV
ジャンル 特撮 アクション ヒーロー
製作国 日本
色彩 Color
1981/02/07 ～ 1982/01/30
TV放映 土曜日
18:00～18:30
テレビ朝日

【解説】
機械帝国ブラックマグマが北極に基地を構え、人類に宣戦布告してきた。対する地球平和守備隊は太陽戦隊を結成、嵐山長官の指揮の下、ブラックマグマの機械生命体と戦う。
独立した作品ではありながら、前作『電子戦隊デンジマン』の続編としての顔も持ち、前作からスピノフしたヘドリアン女王、ベーター族の生き残り・銀河無宿アマゾンキラーの参入、デンジ星人の末裔が登場するストーリーなど、要所要所にその世界観を受け継いでいた。地球平和守備隊のミリタリー色の濃い設定の中で、3人の若者の青春ドラマ的味つけが光っていた。メンバーが最後まで3人だったのも、レッドの交代劇があったのも戦隊シリーズ唯一。終盤に登場したイナズマギンガーは、特撮史上久々のかっこいいライバルキャラであり、以後のシリーズでも同様のキャラが恒例となる。戦隊シリーズという呼称は、本作の頃から使用されるようになった。なお、2代目バルイーグル役の五代高之と嵐山美佐役の根本由美は、後ににつかつロマンポルノ映画『軽井沢夫人』でも共演している。

【クレジット】

監督	竹本弘一 小林義明 服部和史 東條昭平 平山公夫 奥中惇夫 加島昭 山田稔	
アクション監督	山岡淳二	(ジャパンアクションクラブ)
プロデューサー	碓氷夕焼 吉川進 鈴木武幸	(テレビ朝日)
原作	八手三郎	
脚本	上原正三 曽田博久 酒井あきよし 筒井ともみ	
キャラクター制作	エキスプロダクション	
キャラクターデザイン	野口竜	
撮影	石橋英敏	

特撮監督	矢島信男	
視覚効果	デン・フィルム・エフェクト	
美術	森田ふみよし	
音楽	渡辺宙明	
アクション	新堀和男	
	柴原孝典	
	伊藤久仁康	
	日下秀昭	
	喜多川務	
	岩城一男	
	竹田道弘	
	藤川聡	
	猿渡幸太郎	
	柏木勝	
特技・操演	鈴木昶	(株) 特撮研究所)
特技・美術	大澤哲三	(株) 特撮研究所)
特技・撮影	高橋政千	(株) 特撮研究所)
助監督	加島忠義	
ナレーター	大平透	
出演	川崎龍介	大鷲龍介／バルイーグル
	杉欣也	鮫島欣也／バルシャーク
	小林朝夫	豹朝夫／バルパンサー
	根本由美	嵐山美佐
	岸田森	嵐山大三郎長官
	五代高之	飛羽高之／バルイーグル（二代目）
	山田隆夫	矢沢助八
	曾我町子	ヘドリアン女王
	賀川雪絵	アマゾンキラー
	北川たか子	ゼロワン
	東まり子	ゼロツー
	宇田川由紀	ゼロスリー
	高島敏子	ゼロフォー
	広京子	ゼロフォー（二代目）
	彩瀬晶子	
	武田弘樹	
	伊藤巧美	
	山口由美	
声の出演	飯塚昭三	ヘルサターン（機械帝国ブラックマグマ総統）の声